

き た は ら

喜多原だより

NO. 84

令和6年12月吉日発行



次長挨拶

秋には、大きな行事が盛りだくさんでした。10月には中国女子児童バレーボール大会を本県で開催し、ご家族や関係機関の方に応援をいただきありがとうございました。

11月には、園遊会を開催し、ご家族や関係機関の方、後援会のみなさまなどたくさんの方々がお来園ください、学園生活の様子や子どもたちの成長した姿を見ていただきました。

その他にも、岡山県で開催された中国地区児童駅伝・マラソン大会での、子どもたちの活躍など、子どもたちの頑張っている姿を見ることが出来ました。

(次長兼指導課長 小泉 浩二)

★新任職員の紹介★

足立 泰子先生

10月から、新しく保健支援員として勤務することになりました、足立泰子です。

これまでは病院での勤務が長く、看護歴は25年です。この経験を生かして、子どもたちの健康を守り、笑顔たっぷりの声かけをしていきますので、よろしくお願いします。

(保健支援員 看護師 足立泰子)

青戸 優里先生

10月から女子寮で働いています。昨年度の6月から出産、育児のため休暇をいただいていた。家では3人の乳幼児を育てています。喜多原学園での生活は、子どもたちの頑張る姿や成長に私の方が日々パワーをもらっています。たくさんの感動や笑顔が溢れる職場で、また働くことができ嬉しく思います。よろしくお願いします。

(女子寮職員 青戸優里)

学園行事

～米作り体験その3 稲刈り～ (令和6年9月19日実施)

曇り空で絶好の稲刈り日和りのなか、児童、学園職員、分校教員で、星空舞ともち米の稲刈りを行いました。汗をかきながら一生懸命鎌を振るう児童や、周りの児童とお喋りしながら行う児童もいましたが、はざかけまで無事に終わることが出来ました。

もち米は年末の餅つき大会で美味しくいただきたいと思います。 (男子寮職員 前田隆文)

<児童作文>

たくさんの稲を手作業で刈るのが大変だったけど、みんなで協力して最後まで頑張れたので良かったです。 (男子寮児童 Yさん)



～大山乗馬センターとの交流～ (令和6年9月3日・11月14日実施)

今年から、大山乗馬センターと交流をさせてもらうことになりました。

大山乗馬センターは、喜多原学園から車で約15分のところにある、乗馬をはじめとした馬との触れ合いができる施設です。児童は、乗馬センターの方々と一緒に作業を行い、乗馬体験をさせていただきました。馬たちが歩きやすいように道を綺麗にしたり、草刈りや草集めなどの環境整備を行いました。自然豊かな場所と馬たちの姿に癒されました。元気に伸びる草の片づけは根気のある作業ですが、児童は乗馬センターの方や分校の先生、職員と一緒に一生懸命頑張りました。自分の持ち場を、責任を持って頑張る児童の姿に、成長を感じました。乗馬センターの方々から「みんなの力で綺麗にしてくれてありがとう」と、感謝の言葉をいただき「頑張ってたかった！」という気持ちも感じられたのではないかと思います。

乗馬体験では、初めて馬に乗る子、初めて馬に触る子もいて怖さもあったと思いますが、乗馬センターの方々から馬のことを教えてくださったり、傍で勇気づけてくださったことで、全員が乗ることができました。貴重な機会をありがとうございました。 (女子寮職員 谷野純麗)

<児童作文>

お馬さんに乗る前の作業で、剪定ばさみや鎌やレーキを使って、枝切りや草集めを頑張りました。お馬さんに乗る時は落ちないように気を付けました。 (男子寮児童 Sさん)



～バレー大会～

(令和6年10月17日～10月18日実施)

第46回中国女子児童バレーボール大会に参加しました。今年度は在籍児童数の関係で正式参加が叶いませんでしたが、職員もコートに入りチーム一丸となって闘いました。結果、大会では全ての試合に勝利することが出来ました！主体的にバレー活動に取り組み、時にぶつかりながらも互いに認め合いそれぞれの強みを活かして“みんな”で闘い抜いた選手達を私たちは誇りに思います。今年度は大会鳥取県開催ということでこども達は競技以外にも準備や片付け、他県から来られる方々へのおもてなしも一生懸命頑張ってくれていました。ありがとうございます！
(バレー部監督 福本涼葉)

<児童作文>

昨年に引き続き、今年もバレー部のキャプテンを務めさせていただきました。今年はメンバーががらりと変わり、初めはできるかな…と不安がありましたが、児童3名と大人1名のチームを組み、一人ひとりが輝けたバレー大会でした。おかげで全勝することができました。オープン参加だったので、優勝ではありませんでしたが、今年は今年でとっても楽しい、笑顔が溢れるバレーボール大会となりました。
(女子寮児童 Kさん)



～創立記念マラソン～

(令和6年11月29日実施)

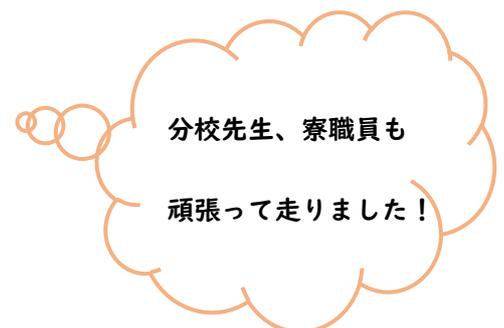
喜多原学園は今年で創立115年を迎えました。創立記念マラソンでは、学園内に2kmのランニングコースを作り、子どもたちだけでなく、寮職員や学校教員も一緒に走りました。子どもたちの踏ん張る力、自分自身と向き合う力、我慢する力等、子どもたちが持っている色々な力を伸ばすためにこの行事があると、私自身は意味づけて行事担当として準備をしてきました。

今年は天候に恵まれず、延期になったり、体が冷えるほどの気温だったり、子どもたちにとっては苦しい部分もあったと思いますが、分校の先生方からたくさんの応援をもらい、みんな良い表情で走り切りました。児童全員に園長から表彰状を授与していただき、また後援会費で購入させていただいたお菓子を参加賞として贈呈しました。お菓子にとっても喜んでいただいていた子どもたちでした。
(男子寮職員 中島萌々子)

<児童作文>

駅伝大会の記録は越せませんでしたが、頑張って走りました。

(男子寮児童 Sさん)



～園遊会～ (令和6年11月1日実施)

11月の園遊会に向けて、中学生は2学期初めから和太鼓の練習に取り組みました。「ぶち合わせ太鼓」は「けんか太鼓」とも呼ばれ、回転しながら激しく打ち合うのが特徴です。初めは恥ずかしくて声が出せなかったり、リズムが正しく打てなかったりと苦労が続きましたが、終わってみると「みんなでやって良かった」という思いで達成感を感じている様子でした。また、境港からダンス教室の先生に来ていただき、ヒップホップの指導をしていただきました。少ない練習時間でしたが、みな真剣に取り組み、ステージでいきいきと踊ることができました。今年は5年ぶりに飲食のブースが開設され、学園で採れた野菜を使用した豚汁やおこわ、日頃から女子が取り組んでいるお点前が振る舞われ、大好評をいただきました。

(教諭 先東淳子)

数年ぶりの飲食ブース開設も伴ってか、100名ほどのお客様にご来園いただきました。

子どもたちの緊張した姿や生き生きとした姿、色々な姿・表情を見ていただけた一日だったと思います。当日、子どもたちはたくさんのお客様から嬉しいお言葉をいただき、とても喜んでいました。また、今年度はプログラムに職員合唱も入れてみました。寮職員・分校教員が一致団結して、歌手AIの「みんながみんな英雄2024」を合唱しました。子どもたちを日頃支援している職員の元気な姿を保護者、関係者の皆様にも見てもらい、元気や安心感を届けられたら…そんな思いで歌いました。合唱も嬉しい感想をいただきました。来年度の園遊会も、子どもたちの活躍の場となるよう、また来てくださった皆様にはっきりとおもてなしができるよう、準備していきたいと思えます。

(男子寮職員 中島萌々子)



～駅伝大会～ (令和6年11月8日実施)

11月8日に岡山県立大学にて、中国地区児童駅伝大会がありました。駅伝の部、マラソンの部に出場し、駅伝の部では準優勝という結果を残すことができました。また、全児童が自身の自己記録を更新し、日々の駅伝練習でがんばってきた成果を十二分に発揮した大会となりました。

(男子寮職員 上紙啓)

<児童作文>

辛かったけど、みんなで力を合わせて準優勝をとりました。練習を頑張ったおかげで、自己ベストを出すことができたし、区間賞も取ることができました。

(男子寮児童 Rさん)



学校生活

★新任職員の紹介★

谷本 孝文先生

9月から福生東小学校分教室に勤務になった、谷本孝文です。着任して3カ月が過ぎました。学校現場は久しぶりで分からないこともあります。周りの先生方に助けをいただきながら学校生活を過ごしています。持ち前のやる気と根性で、頑張っていきたいと思っています。

また、得意なことにサッカーがあります。サッカーは、ずっと続けてきました。皆さんと一緒に体を動かせることが出来たらと思っています。よろしくお願いします!! (分教室 谷本 孝文)

「バレーボール大会応援旗に込めた想い」

10月17日・18日の2日間、大山総合体育館で行われた第46回中国女子児童バレーボール大会に出場する女子生徒のみなさんに対して、同じ学園でともに過ごす仲間として、男子生徒が応援旗を作成しました。3年生男子を中心に、応援している熱い想いをどうしたら届けられるかを悩みに悩んだ結果、『笑顔 最強! ~一つの球で思いを繋ぐ~』というメッセージを旗に描いて送りました。試合結果は…何と全勝!! 3人でのオープン参加ということで、優勝とはなりませんでしたが、最後まで諦めない姿とこの歴史に残る快挙は、きっと応援旗に込めた男子生徒全員の想いが後押しとなったに違いないと思いました。(講師 並里 育子)

「中学校卒業後の進路選択～自分らしい人生を歩むために～」

2学期が終わろうとしています。この2学期終わりから、3年生一人一人がどのような卒業後の進路を選ぶかを決断する、非常に大切な時期となっていきます。

中学校3年間、いや義務教育の9年間は、これからの人生を生きていく上で「土台」となる知識・技能・体力を身につけ、考える力・表現する力を磨きつつ、善悪の判断や思いやりの心、ねばり強さなどの内面を成長させるための時間です。それは自分にとってベストの進路選択ができるようになるために必要な力を積み上げる期間であると言ってもいいかもしれません。

ここでいう「進路」とは、高校への進学のことだけを指しているわけではなく、成人してからの人生の歩み方も含まれます。もちろん中学3年生の時点で、将来の人生プランをしっかりとイメージできている人の方が少数だとは思いますが、大事なことは、やがて誰もが自分の力で生活する、つまり「自立」して生きていくことになるということです。

毎日の生活のなかでは、「面倒くさいなあ」とか「後回しにしよう」とか「なんでこんなことせんといけんだ」などなど、目の前のことをマイナスにとらえてしまっていることが、たびたびあるのではないのでしょうか。しかし、そのようなしんどいことにこそ、みなさんの「土台」を大きくする学びや経験が含まれているものです。いずみ分校で過ごしているみなさんには、中学校卒業するまでに、「自立」して生きていくための「土台」になるものを少しでも大きく育ててほしいと思います。そして、それらが、義務教育を終えてからの長い長い人生において、みなさん一人一人が自分らしく人生を歩んでいける力やモチベーションになると強く信じています。(教頭 吉村崇志)

後援会関係

更生保護女性会の方々との交流について

毎年恒例となっている、後援会員である更生保護女性会さんと児童の交流会を開催しました。交流会ではチューリップの球根植えや茶話会を行いました。

チューリップの球根植えでは、女性会さんから赤と黄の球根を100球寄付していただきました。植える際は、チューリップが咲いた時のことを想像し、子どもたちが試行錯誤して綺麗に咲くよう植えていました。

茶話会では、女性会さんの温かい雰囲気にも児童も安心し、思い思いに話をしていました。

児童が植えたチューリップは4月に咲く予定です。気持ちよく新年度を迎えることができるよう児童をはじめ、学園全体で大事に育てていきたいと思っております。 (女子寮職員 朝倉梨花)

<児童作文>

チューリップの球根植えは初めてでした。貴重な体験ができてよかったです。 (男子寮児童 Yさん)

会員・会費募集案内

喜多原学園では随時、後援会の会員・会費を募集しています。

ご支援が学園で暮らす子ども達の支えになります。

【会費振込先】(口座名)鳥取県立喜多原学園後援会(口座記号)01440-2 (口座番号) 4066

※一口 1,000円から募集しています。趣旨にご賛同いただける方はご協力よろしくお願いたします。

令和6年度年間行事計画

4月	観桜会、遠足	5月	米作り体験、こたか保育園交流
6月	田植え	7月	野球大会(島根県開催7/9~11)
8月	海水浴	9月	キャンプ、大山登山
10月	バレー大会(鳥取県開催10/17~18)	11月	園遊会(11/1)、駅伝大会(岡山県開催11/8)
12月	クリスマス会、餅つき	1月	とんど、スキー体験
2月	スキー体験	3月	卒業式、終業式

※12月~2月頃、児童向け講座や外部講師による研修等を計画予定。

※変更の可能性あり。

~児童在籍情報~ ※R6年12月1日時点

小学生		中学生		中卒生		計
男子	女子	男子	女子	男子	女子	
2名	0名	7名	3名	1名	0名	13名

編集発行

鳥取県立喜多原学園

鳥取県米子市泉706

TEL 0859-27-1101

FAX 0859-27-1611

編集後記

喜多原だより No.84号を作成させていただきました。

2024年は行事が盛りだくさんで、子どもたちの色々な姿が見られました。

2025年も児童一人一人が自身の課題に向き合い、色々な経験を積めるよう、サポートしていきたいと思っております。

来年もよろしくお願いたします。よいお年をお迎えください。